

安全な登下校を

守山南中学校 生徒指導部

新学期が始まって、1か月が経ちました。この1ヶ月、皆さんの様子を見ていて心配なことがあります。それは登下校の自転車の乗り方です。

スピードを出しすぎていませんか。道いっぱいに広がって走行していませんか。話すことに夢中になって2列以上で通行していませんか。ヘルメットをきちんとかぶっていますか。

実際に、自転車や自動車とぶつかってけがをした人や地域の方から注意された人もいます。地域の方から「**すれ違う時にスピードを出したまま近づいてくるから怖い**」や「**道を譲らず、並進をしたまま近づいてくる**」などの話も挙がっています。

自転車は、とても便利な乗り物です。その一方で、自分や誰かに怪我をさせたり、命を落としたりすることにつながる危険な乗り物でもあります。実際に事故が起こったとき、以下のように高額な賠償を求められたケースがあります。一例を紹介します。

事故の概要	賠償金額
坂道を下ってきた小学5年の少年の自転車が歩行中の62歳女性と衝突し、歩行者の女性が意識不明となった。	9,520万円
自転車運転中の男子高校生が車道を斜めに横断し、対向車線を自転車で直進してきた24歳会社員男性と衝突し、会社員は言語機能の喪失等重大な障害が残った。	9,266万円
女性が自転車で歩道を通行中、路地から歩いて出てきた35歳女性と衝突し、歩行者の女性が骨折した。	1,706万円

通学路は慣れた道だから、「自分は大丈夫」と思っている人もいるかもしれませんが、その道を使っているのは皆さんだけではありません。今一度、自分の乗り方は安全か、誰かに怖い思いをさせていないかを振り返ってください。

そして、**思いやりをもって**自転車を運転できる南中の生徒が増えていくことを願っています。

保護者の皆様

交通安全や交通マナーについては、学校でも指導をしていますが、ご家庭でも話をいただき、子どもたちがより安全に登下校できるようご協力をよろしくお願いいたします。